



かやの実保育園は北原白秋の「かやの木山の」という詩から名付けられたと聞いています。いつか、この詩を年長児が唱えてくれたら嬉しいな、と常々思っていました。この願いがようやく叶い、第48回卒園児が卒園を祝う会の場で披露してくれました。

第48回卒園を祝う会は、なんとインフルエンザ流行と重なってしまい、23日（土）と29日（金）2回行なうこととなりました。29日は全員揃うことができ、元気にかやの実を巣立っていきました。

かやの実保育園のしおりの中に本園の保育について、「ひとりひとりを大切に」と書かれています。これは当たり前のことですが、具体的に、大人、他の人から大切にされた実感できた子は、人を大切にする心が育ちま

す。かやの実保育園では「私は大切にされた」と実感できる保育をします、と言っています。これはスローガンで終わってしまってはいけません。私たちは子どもたちの見えない「こころ」を育てています。保育園時代の記憶は殆ど残らないのですが、だからこそ大切な時間なのです。その時代、入園してから卒園するまでひとりひとりを大切に育てます。だから卒園後も忘れられない大切な存在で、みんな顔を見せに来てくれと嬉しいです。

かやの実保育園の卒園証書には「働くことが大好きで、学ぶことが大好きで、生きていることを素晴らしいと思う大人になってください」と書かれ、アルバムに挟み込まれています。この言葉は開園当初から変わらず、卒園する子どもたちみんなに伝え続けていま

今年はどうな子どもたちに出会えるでしょう。これからかやの実保育園でどんなふうにご一緒するか楽しみにしています。今年もたくさんの皆さんに支えて頂き、子どもたちと一緒に職員一同成長していきたいと思っております。

月並みではありますがどうぞよろしくお願い申し上げます。

以上

